



株式会社日本バイオリサーチセンター

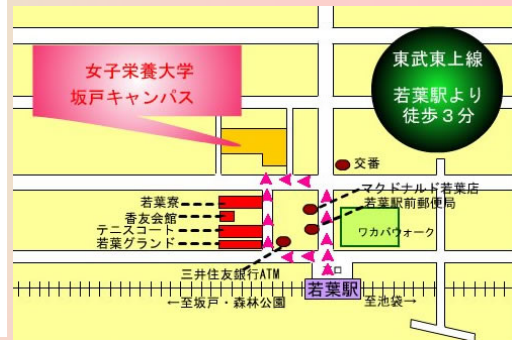
Nihon Bioresearch Inc.
〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地
TEL 058(392)2431 FAX 058(392)1284
URL: <http://www.nbr.co.jp/>

**第62回 日本栄養・食糧学会大会に
企業ブース展示いたします。**

・ ブース展示は、5月3日(土)および5月4日(日)です。

健康食品の機能性を評価するための適切な評価系を、数多くの実績からご提案するとともに、健康食品に必要な安全性試験についても適切な評価系をご提案します。

1. 生活習慣病(高脂血症、高血圧、糖尿病、肥満)
2. 冷え性
3. リウマチ(アジュバント関節炎、コラーゲン関節炎)
4. 疲労(筋肉疲労)
5. アレルギー(花粉症・結膜炎・鼻汁、アトピー性皮膚炎)
6. 美白(色素沈着抑制)
7. 中枢関連(抗うつ、抗不安作用)
8. 一般毒性(単回投与試験、反復投与試験)
9. 遺伝毒性(Ames試験、染色体異常試験、小核試験)
10. 生殖発生毒性(催奇形性試験)



女子栄養大学 坂戸キャンパスへのアクセス
(東武東上線「若葉駅」下車、東口より徒歩3分)

上記各種試験リーフレットを展示配布します。
是非、お立ち寄りください。

▶▶ 学会開催日時 : 平成20年5月2日(金)~平成20年5月4日(日)

▶▶ 学会開催場所 : 女子栄養大学内

第62回日本栄養・食糧学会大会

会 期 2008年5月2日(金)~4日(日)
会 場 女子栄養大学
名譽会頭 香川 芳子(女子栄養大学学長)
会 頭 岡崎 光子(女子栄養大学)



お知らせ:

・ 次号予告 JAPANチャレンジについて。。。

佐部利 典彦のアートギャラリー(7)

岐阜県出身(1969~)



作品解説

作品タイトル:「human being」(ガラス絵)
特別支援学校の生徒のみなさんとの活動とは別に、私ひとりでも制作しました。
縦3m×横6mのガラス絵です。生徒さんとも触れ合いながら、関特別支援学校に
呼んで頂いて、感じたことを絵にしました。



こちらから
(株)日本バイオリサーチセンター
業務企画部の連絡先が入手できます。

『心の絆 - その7 -』

私たちの仕事、薬の開発は動物の命を犠牲に成り立っています。薬効や毒性を調べるのに動物を用いない代替法も開発されていますが、人への外挿性の高い結果は動物全体の反応から確認、検証が必要です。実中研の獣医師鍵山直子さんは「生きたモノサシの彼らがいるから、研究成果を臨床に応用できる」と述べられています。こうした前臨床試験の過程を経ているような薬が開発され、人の健康生活に役立ち、寿命も画期的に延ばしました。私たちが動物の命について人の為になっていることを理由にして必要性や必然性を自ら理解し説明してきました。しかし、人の為なら、人類の発展の為なら許され仕方ないのでしょうか。人が起因になっている昨今の地球の環境破壊や温暖化、民族紛争などの現状はこの理由だけでは理解や説明はできなくなっています。今こそ人、動物、植物の地球上に存在するすべて生物が共生共存できるための相互関係とその中で人の果たすべき役割を見直す時がきています。